

令和8年度（I期）

感染管理認定看護師教育課程 入学選考試験問題

専門科目 I：四肢択一

以下の問題について該当する番号を一つ選び、解答欄に記入しなさい。

**【問題 1】** 一般的に世界3大感染症とされ、SDGs（持続可能な開発目標）を達成するためにも対策が必要とされる感染症はどれか。

1. 赤痢
2. 結核
3. 鳥インフルエンザ
4. 細菌性髄膜炎

**【問題 2】** 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、感染症法）の2類感染症として正しいのはどれか。

1. 痘瘡
2. マラリア
3. ジフテリア
4. 後天性免疫不全症候群

**【問題 3】** 感染症法において、医師が直ちに届け出る必要がある感染症はどれか。

1. 麻疹
2. 破傷風
3. 梅毒
4. 百日咳

【問題 4】 予防接種法において定期予防接種でない疾患はどれか。

1. 結核
2. 水痘
3. 風疹
4. 流行性耳下腺炎

【問題 5】 予防接種についての説明で正しいのはどれか。

1. Hib ワクチンは生ワクチンである。
2. 生ワクチンは、不活化ワクチンに比べて持続性は短い。
3. MR ワクチンは、麻疹・風疹の 2 種混合ワクチンである。
4. インフルエンザワクチンは 1 回の接種で生涯免疫が得られる。

【問題 6】 日和見感染の説明として正しいのはどれか。

1. 感染が成立しても病状が現れないこと。
2. 侵入門戸から病原微生物が侵入して症状が出現すること。
3. 微生物などの感染性因子が組織に侵入して増殖していること。
4. 免疫不全状態時に、通常は病原性を発揮しない病原体に感染すること。

【問題 7】 感染症と基本再生産数の組み合わせとして適切なのはどれか。

1. インフルエンザ ————— 22～30
2. ポリオ ————— 1 ～ 3
3. 麻疹 ————— 16～21
4. ジフテリア ————— 10～15

**【問題 8】** ハイリスク型ヒトパピローマ・ウイルス（HPV）として正しいのはどれか。

1. 6 型
2. 16 型
3. 20 型
4. 42 型

**【問題 9】** エンベロープを保有しないウイルスとして正しいのはどれか。

1. コロナウイルス
2. アデノウイルス
3. デング熱ウイルス
4. サイトメガロウイルス

**【問題 10】** 黄色ブドウ球菌の説明として正しいのはどれか。

1. 乾燥に弱い。
2. 食中毒の原因菌となる。
3. マイコトキシンを産生する。
4. 鼻腔に 100%常在している。

**【問題 11】** 腸内フローラを構成する腸内細菌の「善玉菌」として正しいのはどれか。

1. 酪酸菌
2. 大腸菌
3. サルモネラ菌
4. インフルエンザ菌

【問題 12】 緑膿菌のグラム染色性および形態として正しいのはどれか。

1. 陽性桿菌
2. 陽性球菌
3. 陰性桿菌
4. 陰性球菌

【問題 13】 芽胞形成菌として正しいのはどれか。

1. *Escherichia coli*
2. *Mycobacterium tuberculosis*
3. *Streptococcus pneumoniae*
4. *Clostridioides difficile*

【問題 14】 芽胞の説明として正しいのはどれか。

1. 消毒薬に抵抗性がない。
2. 栄養型は増殖できない。
3. 乾燥状態で長時間生存する。
4. 芽胞形成する細菌は自然界にない。

【問題 15】 隔離予防策のための CDC ガイドライン 2007 で感染症と感染予防策の組み合わせとして正しいのはどれか。

- |               |       |         |
|---------------|-------|---------|
| 1. 後天性免疫不全症候群 | _____ | 標準予防策   |
| 2. 破傷風        | _____ | 接触予防策   |
| 3. 梅毒         | _____ | 空気感染予防策 |
| 4. クラミジア肺炎    | _____ | 飛沫感染予防策 |

**【問題 16】** 隔離予防策のための CDC ガイドライン 2007 で標準予防策とされていないのはどれか。

1. 含嗽
2. 患者収容
3. 呼吸器衛生/咳エチケット
4. 腰椎穿刺時のサージカルマスクの着用

**【問題 17】** 個人防護具の使用について正しいのはどれか。

1. 気管内挿管を行う際の眼の防護についての勧告はない。
2. 粘膜や傷のある皮膚に触るときには、手袋を着用する。
3. 同じ患者に繰り返し接する場合は、ガウンを再利用してよい。
4. サージカルマスクは装着する度にユーザーシールチェックを行わなければならない。

**【問題 18】** 個人防護具の脱衣順として最初に外すのはどれか。

1. 手袋
2. エプロン
3. ゴーグル
4. サージカルマスク

**【問題 19】** 手指衛生の方法について正しいのはどれか。

1. 流水と石けんによる手洗いは 10 秒かけて行う。
2. 目に見える汚れがある時はアルコール製剤による手指消毒を行う。
3. 下痢をしている患者のケア後は流水と石けんによる手洗いをを行う。
4. アルコール製剤を用いた手指消毒直後に流水と石けんによる手洗いをを行う。

**【問題 20】** 空気感染しないのはどれか。

1. 結核
2. 麻疹
3. 風疹
4. 水痘

**【問題 21】** 芽胞菌に効果がある消毒薬として正しいのはどれか。

1. フェノール
2. グルタラール
3. 両面界面活性剤
4. クロルヘキシジン

**【問題 22】** 結核菌の消毒に効果があるのはどれか。

1. エタノール
2. アクリノール
3. ベンザルコニウム
4. クロルヘキシジン

**【問題 23】** カテーテル関連尿路感染予防のための CDC ガイドライン 2009 で推奨されていることとして正しいのはどれか。

1. 定期的に膀胱洗浄する。
2. 閉鎖式導尿システムを維持する。
3. 定期的な間隔で採尿バッグを交換する。
4. カテーテル関連尿路感染予防のために尿道口を消毒する。

**【問題 24】** 血管内留置カテーテル関連感染予防のための CDC ガイドライン 2011 で高度無菌バリアプリコーションに必要でないのはどれか。

1. 帽子
2. N95 マスク
3. 滅菌ガウン
4. 全身を覆う滅菌ドレープ

**【問題 25】** 高圧蒸気滅菌法の特徴として正しいのはどれか。

1. 残留毒性がある。
2. 短時間で滅菌できる。
3. エアレーションが必要となる。
4. 非耐熱性器材にも使用できる。

**【問題 26】** Spaulding の分類でセミクリティカルに分類されるのはどれか。

1. メス
2. 軟性内視鏡本体
3. 歯科用インプラント
4. 血圧計マンシェット

**【問題 27】** グラム染色の説明として正しいのはどれか。

1. 結核菌の染色に適している。
2. 陰性菌は赤に染まる。
3. 検査に時間がかかる
4. 起因菌の鑑別ができる。

**【問題 28】** 感染症迅速検査で、尿検体を使用するのはどれか。

1. レジオネラ
2. RS ウイルス
3. A 群溶血性連鎖球菌
4. 水痘帯状疱疹ウイルス

**【問題 29】** 血液培養の説明として正しいのはどれか。

1. 成人の採血量は 1mL である。
2. 1 回 1 セット採取すれば十分である。
3. 血液培養ボトルのキャップを外した後の消毒は不要である。
4. 採取のタイミングは発熱時よりも悪寒・戦慄を自覚したときがよい。

**【問題 30】** 薬剤耐性菌の説明として正しいのはどれか。

1. MRSA はメチシリンだけに耐性を示す菌である。
2. MDRP とはペニシリンに耐性を生じた緑膿菌である。
3. CD とは抗菌薬に対する耐性が弱い耐性菌の総称である。
4. ESBL 産生菌とは、基質特異性拡張型  $\beta$  ラクタマーゼ産生菌のことである。

**【問題 31】** VRE の説明として正しいのはどれか。

1. 肺炎球菌である。
2. 消毒用エタノールが有効である。
3. 標準予防策のみで患者に接する。
4. カルバペネム系抗菌薬に耐性を持つ。

**【問題 32】** カルバペネム系抗菌薬はどれか。

1. メロペネム
2. セファゾリン
3. ゲンタマイシン
4. ベンジルペニシリン

**【問題 33】** 抗菌薬についての説明として正しいのはどれか。

1. すべて抗菌薬の作用は殺菌である。
2. 抗インフルエンザ薬も含まれる。
3. 時間依存性の抗菌薬は1日3～4回に分割して投与する。
4. 広域抗菌薬を選択した場合は、いかなる場合も狭域抗菌薬への変更は推奨されない。

**【問題 34】** 針刺し・切創時の初期対応として最も適切なのはどれか。

1. 圧迫止血する。
2. 血液を絞り出す。
3. 流水で洗浄する。
4. アルコール消毒する。

**【問題 35】** 針刺し・切創・皮膚/粘膜汚染によるウイルス別感染リスクとして、最も感染リスクが高いのはどれか。

1. HBe 抗原陽性
2. HCV 抗体陽性
3. HTLV-1 陽性
4. HIV 抗体陽性

**【問題 36】** 黄色のバイオハザードマークが付いた容器に廃棄するのはどれか。

1. 紙くず
2. 注射針
3. 点滴パック
4. X線フィルム

**【問題 37】** 免疫機能に関与する細胞はどれか。

1. 血小板
2. 白血球
3. 赤血球
4. DNA

**【問題 38】** 胎盤通過する抗体はどれか。

1. IgA
2. IgD
3. IgG
4. IgM

**【問題 39】** 妊娠初期の感染で児に難聴が生じる可能性が高いのはどれか。

1. 水痘
2. 風疹
3. 麻疹
4. 流行性耳下腺炎

**【問題 40】** 肺結核患者の薬物療法について、適切なのはどれか。

1. 抗結核薬は単独で使用する。
2. 標準治療は抗結核薬の 1 か月の服用である。
3. 治療効果の判定はツベルクリン反応検査を行う。
4. 直接服薬確認療法（DOTS）が推奨されている。

40代男性、朝5時から突然上腹部の激痛と悪心、嘔吐の症状で受診した。  
生活状況を確認したところ、昨夜職場の送別会でサバやイカなどの海鮮類を食べたことがわかった。  
送別会に参加した職場の同僚には同様の症状の者はいない。  
同居の家族にも同様の症状の者はおらず、自宅にペットはいない。

**【問題 41】** この患者が罹患している可能性が最も高い病原体はどれか。

1. ブドウ球菌
2. ロタウイルス
3. アニサキス
4. カンピロバクター

**【問題 42】** 患者を診察した医師の対応として適切なのはどれか。

1. 入院して治療が必要であることを説明する。
2. 感染症法に基づき保健所へ届け出をする。
3. 職場へ報告して出勤停止を申し出るよう説明する。
4. 食品衛生法に基づき保健所へ届け出をする。

30代女性患者 F 氏は、3 日前から微熱と強い全身倦怠感を自覚したため病院を受診した。血液検査で肝機能障害が認められ、急性肝炎と診断され入院した。これまで肝臓の異常を指摘されたことはなく、家族に肝臓疾患を罹患した者はいない。F さんへの聞き取りから、1 か月ほど前に生の牡蠣を食したことが分かった。

**【問題 43】** 患者 F 氏が罹患した肝炎として最も考えられるのはどれか。

1. A 型ウイルス肝炎
2. B 型ウイルス肝炎
3. C 型ウイルス肝炎
4. D 型ウイルス肝炎

**【問題 44】** 患者 F 氏が罹患した肝炎についての説明として正しいのはどれか。

1. 細菌感染である。
2. 慢性肝炎に移行しやすい。
3. 劇症化する危険性はない。
4. 治療は対症療法が主体である。

外科病棟に入院中の患者 G 氏と患者 H 氏の尿から CRE が検出されたと細菌検査室より連絡があった。患者や病棟の状況を確認したところ、以下のことが分かった。

- ・ 患者 G 氏と患者 H 氏は 2 人部屋の同室に入院していた。
- ・ 患者 G 氏と患者 H 氏はオムツを使用しており、尿道留置カテーテルが挿入されていた。
- ・ 尿の廃棄は看護助手が行っており、作業時に着用していた个人防护具は未滅菌手袋のみであった。

**【問題 45】 CRE についての説明として正しいのはどれか。**

1. クリンダマイシン耐性腸球菌
2. クラリスロマイシン耐性緑膿菌
3. カルバペネム耐性腸内細菌目細菌
4. エリスロマイシン耐性黄色ブドウ球菌

**【問題 46】 患者への対応で最も適切なのはどれか。**

1. 病室入室時は手袋を二重にする。
2. 2 人部屋のまま接触感染予防策を実施する。
3. 接触する職員を限定するため、リハビリは中止とする。
4. 使用する器材は全てディスポーザブル製品に切り替える。

介護施設に入所中の女性 I 氏は、ADL が全介助（要支援 5）である。手掌や手首に発疹が認められたため、受診した。

施設の看護師から、以下の情報が得られた。

- ・ 夜間に掻痒感が増強するようだ。
- ・ 腹部や指の間には線状の隆起と丘疹がみられるが、頭にはみられない。

**【問題 47】** I 氏が罹患している疾患として可能性が高いのはどれか。

1. 白癬
2. 通常疥癬
3. 帯状疱疹
4. 脂漏性湿疹

**【問題 48】** 施設の看護師への説明として正しいのはどれか。

1. 個室へ隔離する。
2. 使用したリネンは焼却する。
3. 居室は毎日殺虫剤を使用して清掃する。
4. 長時間の皮膚接触がなければガウンを使用しなくてもよい。

12月3日 午前11時、内科病棟において複数名の患者が下痢、嘔吐を発症し、感染対策について助言が欲しいと病棟師長より連絡があった。

状況確認すると以下のことが分かった。

- ・ 12月1日、4床室に入院している患者J氏が下痢、嘔吐を発症した。
- ・ 12月3日、患者J氏と同室の患者K氏、患者L氏が嘔吐した。
- ・ 患者J氏、K氏、L氏はいずれも日常生活行動に介助を必要とする。オムツを着用し、経腸栄養管理を受けている。
- ・ 感染対策として、12月1日からJ氏を個室管理とし、擦式アルコール製剤を個人携帯して業務にあたるよう統一されていた。

**【問題 49】** 介入内容として優先順位が高いのはどれか。

1. 便培養検査を行うことについて医師に相談した。
2. 患者家族へ院内感染であることを連絡した。
3. 病棟内に同様の症状のある患者がいないか確認した。
4. 患者J氏、K氏、L氏は直ちに個室に収容するよう指示した。

**【問題 50】** 病棟への助言内容として優先すべき内容はどれか。

1. 当該病棟への入院患者の受け入れは中止する。
2. 業務負担軽減のため、環境整備は汚れた場合のみ実施する。
3. オムツ交換回数を減らすために尿道留置カテーテルを挿入する。
4. 下痢や嘔吐の発症患者への手指衛生は、流水と石けんによる手指衛生を優先する。